

第2回日本グランプリ2023姫路大会

10月28日(土)29日(日)、姫路市のアクリエひめじで第2回日本グランプリ2023姫路大会がSBD、ONIの器具協力のもと、盛大に開催された。今年の大会は、一般の大会に加え、マスターズの大会も行われ、出場選手300名を超える大規模な大会となった。そして、パラパワーベンチプレス大会、ポールダンスやランズエンドプロレスリングとのコラボが大きな話題となった。プロレスでは、王者大門寺崇VS挑戦者巨木フトシのアジアヘビー級王座選手権をはじめ、たくさんのレスラーが名勝負を繰り広げ会場を盛り上げた。表彰式は、リング上で行われ、各選手の思い出深いシーンとなった。

今大会で日本新記録を出したのは、地元兵庫県男子83kg級M3内藤雅文選手。クラシックパワーリフティングSQ215kg、DL242.5kgトータル592.5kgで優勝した。この他日本新記録を出したのは、サブジュニア2005年生まれの3名、クラシック66kg級星野航平選手SQ205kg、DL240kgトータル555kg、74kg級大澤宝穂選手BP142.5kg、93kg級座安健太郎選手DL260kgの素晴らしい新記録、今後が楽しみな選手が現れた。エクイップシングルベンチプレスでは、105kg級小野和久選手が202.5kgでM3日本新記録、順位は一般で2位だった。

標準記録が高くなっていますが、出場選手が増えてうれしいことです。どの大会も運営スタッフは、頑張ってくれています。標準記録や取得日、ドーピング講習会受講日等、まちがわないように申し込みをして必ず入金をしてくださいね。そして、選手としてベストを尽くし、マナーを守って大会がスムーズに実施できるようにご協力をお願いします。



83kg 級 M3 内藤雅文選手 パラパワーベンチ 80 kg 級大塚博幸選手 ポールダンス



リング上での表彰式 平井選手
プロレスのマスクをかぶって登場



プロレスの名勝負



アジアヘビー級王座選手権表彰式